愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

(定價)一枚參錢五厘一ヶ月分七錢三ヶ月貳拾壹錢半年分四拾貳錢壹ヶ年分八拾四錢全國無遞送料郵劵代用(壹錢又は五厘切手)一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

東京市麴町區下二番町三十七番地大日本女學會内
發行所　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

身躰の經濟

生命と財産とは人生の最も大切なもので、爲政家も國民の生命財産の安固を保障すべきが主眼である。斯様に大切な財産は勤儉貯蓄の結果であるが、身躰の上にも亦大に勤儉貯蓄の心掛が大切である。身躰の上の勤儉貯蓄とは、如何なることであるかと申すに、身躰の組織を丈夫にし活動を盛ならしめて、貧血衰弱に陷らない様に心掛けるのである。

人の食物には形成食料と保溫食料との二様がなくてはならぬ、即ち身躰の實質を構成する所の蛋白質と、活動力及び躰溫を生ずる所の脂肪・含水炭素(澱粉・糖分)等である。乃て人躰を蒸汽機關に譬へて見ると、形成食料は機關の實質、即ち鐵などに當り、保溫食料は石炭に當るものである。人の身躰は常に攝氏三十七度半の躰溫を保つものであるが、此躰溫は保溫食料たる脂肪や含水炭素が、石炭の用を爲して躰中で燃えて、保溫の働きをして居るのである。生理學者の調べに據ると、人の躰溫は一時間に壹斗六升五合の水を沸騰さすだけの熱を要する事になつて居る、一時間に壹斗六升五合であると、一日には實に三石九斗六升で、据風呂に一杯もある水を沸騰さすだけの熱が入用なのである。若しも躰力が不足して、それだけの躰溫を保つ事が出來なくなれば、直に病氣になるのである。

人が病に罹つて食物が食べられなかつたり、或は食べても消化吸收しない時は、躰溫を保つべき燃料が躰外から供給されないから、躰内に在る脂肪が燃料となつて支へて居る。其脂肪が燃え盡くされると、其次には筋肉が燃えるのである。若しも又病氣で發熱する場合には、平生よりも燃料が餘計に要るから、躰内の脂肪や筋肉が一層餘計に燃える、故に熱病に罹ると身躰が忽ち疲れて瘦せるのである。子供が一寸熱を出しても堅く締ッて居ッた手足が、忽ち柔かくなるのは、孰れも經驗のあることであるが、孰れも躰内の大切な物が燃えて耗るからである。されば平生心掛けて、脂肪筋肉を躰内に貯蓄し置く事が肝要である。之を貯蓄するには、良い食物を用ゐねばならぬ。良い食物と云ふのは、必ずしも價の高い食物には限らない、滋養に富んだ食物が良い食物である。然しながら良い食物を用ゐても、身躰を働かさねば消化吸收しないから其効はない。日本の人は貧乏人が身躰の經濟が割合に上手で、財産家は身躰の經濟を怠ッて居るのが割合に多い樣である、價の高い食物を用ゐながら、身躰に消化吸收せしめないで、無益に躰外に棄てゝ居る、財力に富みながら躰力は貧弱である。國民の母たる婦人方の大に鑑むべき事であると思ふ。

◎總裁殿下大坂に御旅行御途上に於ける會員奉迎の盛況

相談役　陸軍歩兵少佐　堀内文次郎謹記

櫻花爛漫、人の心も自ら長閑なる好時節、况して我々會員一同年來希望に堪へざりし總裁殿下を戴くことを得て、會况愈振ひつゝある悦びを懷きて、しかも、また此度偶然にも閑院宮殿下及び本會總裁たる同妃殿下御西下の御車の後に、御同車の光榮を荷ひたる我は、如何に愉快なる現况に接したるか。左に其一斑を記して以て汎く我會員と共に其喜びを分たんとす。

四月八日午後六時發の列車により、閑院宮殿下及び總裁殿下御同列にて大坂に向はせられたり。此御旅行の事を本會にて承りたるは其當日なりしを以て、奉送の順序方法等を定むる暇なかりしが、幸ひ其日評議員會に出席せられたる方々が、急速奉送の事を決議せられ内海男爵夫人は會長、理事總代として鄭濱子高木鎵子兩夫人は評議員總代として、奥村刀自と共に新橋に奉送せられたるが、兩殿下は一々謁見を賜はり、御機嫌いと麗はしく御發車あらせられたり。

靜岡驛　斯くて御車の靜岡驛に着したる頃は、夜も漸く更けて、午後十一時頃なりしが、幹事長山田竹子以下數名の婦人及び事務員朝比奈良忠氏御出迎申し上げたり。

名古屋驛　夜は愈よ更け渡りて、午前三時頃名古屋停車場御着。此處には幹事長深野夫人を始め、副幹事長後藤町子、幹事片野すゞ子張祥子、事務員松下憲杉山覺三郎の諸氏奉迎せり。深夜人稀なる所、此熱誠なる婦人方の奉迎は一層目立ちて見えたり。

岐阜驛　滊車は愈よ進んで午前四時頃岐阜驛に到着せり。此處に奉迎したるは幹事長代理吉田ひさ子戸田ふで子事務員高木廣衞力丸說長谷川房吉の諸氏なりき。

以上の諸驛は悉く夜間にして、中には眞夜中なる處ありしにも拘はらず、熱心なる我會員の君達は誠意を表して恭しく奉迎せられたる其名刺は翌朝悉く殿下の御覽に供し奉りたり。宮殿下總裁殿下の御滿悦斜ならざりきと恐察し奉りぬ。

大津驛　滋賀の都に御着の頃は夜來の雨に塵を洗ひ、露を含める櫻花のいと麗かに匂ふ頃なりしが、鈴木幹事長關幹事、及び帆足鶏飼の兩會員奉迎し、幹事長は謁見を賜はり、殿下よりは本會に對する盡力を謝する旨の難有御辭を賜はりしかば、奉迎員一同感激せり。爾後京都大阪の各驛とも同樣に、評議員幹事長に謁見を賜はり同樣の御辭を賜はりたれば、親しく此光景を拜したる我はそゞろに感佩の念に堪へざりき。

京都驛　午前七時半頃御着、大森幹事長木下副幹事長及び中澤幹事外數名奉迎せり。

大阪驛　當驛御着は午前八時半頃にて、幹事長高崎榮子、以下廣岡松本土居鶴原の各評議員、井上松本土居淺井草野井上(久米子)吉田大谷島崎山田澁川の各幹事及び中井河野小西平川吉田の各會員奉迎、前同樣御辭を賜りて後兩殿下共に御旅館へ向はせられたり。

會長　公爵夫人岩倉久子筆

櫻　　評議員　中山幸子

さくら花おい木若木のへだてなく
やまと心のにほひこそすれ

春のゝに駒のあそふをみてよめる

いさましくみえにけるかな芝生には
かすもかきらす駒そあそへる

新たに總裁宮殿下の御上任遊ばされしをうけたまはりて

長崎　幹事　石橋翠子

打仰く竹のそのふの下風に
いよ〱梅のかをりたりしも

愛國婦人會第二大會の日めつらかに空晴れ渡りたるよしをきゝて

雨雲をよそにはらひて天てらす
かみもうれしくみそなはすらむ

愛國婦人の一周年をいはひて

こその春生れいてにし竹の子の
しげれるかげを見るそうれしき

奥村五百子の君によする

國の爲めつくしの潟によるなみの
ひまなき君かこゝろをそ思ふ

折にふれて

をのこにはあらぬわかみも國のため
つくすこゝろはかはるものかは

第二回愛國婦人大會にのぞみ奥村刀自の演說をきゝて

東京　會員　松下高子

たけのそのふのかげうけて
いよゝのどけきはるはきぬ
こぞにもまさる花のえん
みどりいろますひめまつの
しげりにしげるをしへぐさ
みなさけこもるみさとしを
きゝていよ〱くにのため
つくすこゝろぞふるひける
おくれかちなるわれながら
こゝろのこまにむちうちて
なほもみがゝんくにのため
なほもつくさんきみのため

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として熊本支部會新年會の寫眞附錄を添へたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎女子と國家

文學博士　村上專精

左の一篇は此程本郷に開きし愛國婦人會の席に於て博士からのせられたる演說の要領なり聽き誤りの責は記者にあり

○家庭に於る婦人の力　女子と國家即ち御婦人方とそれから日本と云ふ國。此日本と云ふ國が榮えるか衰へるかと云ふことが、御婦人方にどう云ふ關係があるかと云ふ話である。併し問題が大き過ぎる、人の心に汲取り難い。大は小より始まる、故に先づ家庭の事より話さう。此に一軒の家がある、家には家族がある、其家の盛衰について、婦人が如何なる關係を以て居るかと云ふとより考へねばならぬ。之を說き明すには、人間の中の男女の區別を說かねばならぬ。既に男女と云ふ名が違つて居る以上は、同し人間でも、異なッた處がなくてはならぬ。天地万物名前が違へば形が違ふ、形が違へば働きが違ふ、是は万物通有の原則です。それで何方が宜いかと云ふと、何方も宜いのである。万物各々其長所と短所がある、他物の有せぬ所の特性を有つて居る。其處から一つ考へて見ると、同し此人間の中に男の方が優れて居るか、女の方が劣ッて居るかと云ふに、男には女子の及ばぬ力がある、女子が幾ら焦ッても出來ぬ仕事をする力を男子は有ッて居る。之に反して、女子も亦男子の及ばぬ豪い伎倆を有ッて居るに違いない。どんな女でも自然に男の及ばぬ所の伎倆、德を女子が有ッて居る。それで兩者如何なる差があるかと云ふに、形の上に現はれることでは婦人方は男子に及ばぬ、形に顯はれぬ點は女子の方が非常に强い。家庭について云へば、農事をする商業を營む等、形に現はれた所の業務は男子が執ッて居る。然るに女子は其無形の方に力を盡して居る、假令ば農家でも商家でも、一代に斯う云ふ身分になッたと云ふ人の家庭を聽て見ると、必ず妻たる人か無形に援けて居る、大事業を爲したものには必ず其後ろに婦人の援助があります。又事業を助ける迄でなくても、一家の整理なり、子供の敎育なり、經濟なり交際なりのとは、總て女子の力を要するもので、女子はつまり家庭の中心である。

○婦人の特性　次に女子の特性として、人を懷ける力がある、人を懷けるに天然の力があるから、又惡い方に來ると男子より非常に惡い所がある。即ち婦人は男子よりか、情と云ふものを多量に有ッて居る、此情を上手に使ふと否とにより、毒にもなり藥にもなるのである。情によッて家が治り、情の爲に社會か鎭まる。情を平たく云へば情け心である、此情を澤山もッて居るのは神佛である、觀音の像を女に形作るのは、情多いと云ふことを顯はしたものである。

○男女の相違は其形のみにあらず　日本國は何う云ふ人か有ッて居るかと云ふに勿論男と女とである。戰爭に鐵砲を擔ぎ、大砲を挽き、軍艦へ乘るのは男子の職分である。女は情から出た軍隊、無形の戰爭即ち無形的に兵士の代りをやッて往かねばならぬ。是れが愛國婦人會の起つた所以である。所が日本には昔からの習慣で、儒敎でも佛敎でも、女は何事も男に任かせ、男に付いて居ると云ふ習慣、女には仕事は出來ぬものゝ樣思つて居る、是れは大なる間違である。詰り男女と云ふも、形の上の男女と精神上の男女とがあるので、涅槃經にも佛性を知ッて之を磨き上げる志の有る者は之を男子と云ひ、之を磨き上げぬものは女子と云ふとしてある。之を以て見るも、勇氣があッて氣象があッて、或る事を仕上げるものは大丈夫即ち男子であッて、氣概もない勇氣もないものは即ち女子である。男女の區別は形の上の區別のみでない事は、十分皆さんに於て御考へを願ひます。

○美人とは形の美人にあらず　次に女子は一名美人と云ふ名前を有ッて居る、男子は美人と云ふ名前を有ッて居りませぬ。其美人と云ふ異名を、今日の御婦人方はどう取ッて御出になるか、眞の美人と云ふ意味は、形に關係のない美人と云ふことに相違ない。然るに私が多數の女子の狀況を見まするに、心の美人たるよりも、形の美人たることを好む婦人か多い。是は國家の爲に非常に忌はしいことである。私は殊に御婦人方に申上げますが、若し婦人達が形の美人たらんことを望んで居る間は、御氣の毒ながら女子は男子の玩弄物でなければならぬ、女子が形の美を競ふ間は男の嬲り物でなければならぬ、若し男子の玩弄物となることを慨かはしいと云ふ御氣象があッたならば、形の美を競ふことを止め、精神の美を競はなければならぬ。若し婦人方が精神の美を競爭なさるやうになれば、自然に誰れが敎へるとはなく、女子には女子の價値が付く、女子の價値が付く而已ならず、國家の上から論ずる時には、國が榮え家が榮えるのであります。（をはり）

◎早婚及び晩婚の話

統計局審査官　呉文聰

此に皆さんに御耳、いえ、御目を拜借したい事が有ります、外でもありません、世間でよく云ふ早婚の弊又は晚婚の弊であります。晚婚の弊と云ふとは餘り世間で申しませんが、私共の方では晚婚の弊と云ふ事を申します。先づ早婚の弊と云ふは

（一）年齡若くして婚姻をすれば、精神も身躰も共に未だ發達せぬ時であるゆゑ、身躰が虛弱となる事

（二）學事職業未熟にして、一家を經營する力なく、半途にして夫婦別れをするとの止むを得ざるに至る事

（三）子女を養育敎育するの力なくして、社會の迷惑となり、其子女も亦身躰虛弱敎育不足の爲、社會の厄介となる事

（四）早婚するが如き者は社會の上下兩級にありて、中等の健全なる階級に少し、從ッて上級者は暫らく措き、下級民族の子孫增殖し、國民の品位下劣となる事

（五）早婚すれば夫婦同棲の歲月永く、從ッて子を生む年數長きが故に、其養育すべき子女多く、家計益々困難に陷る事。例へば女が十六歲にて婚姻すれば、四十五歲迄に三十年存するが故に比較的多く子女を生む割合なるが如し

晚婚の弊如何と云ふに、晚婚には其主義二つあり。一は一家を維持する用意周到なるが爲、結婚の時期漸々遲延する事なり。此は弊にはあらざれど、一國全躰の上よりしては、人口增加の程度を減殺するの恐あり。第二は一家を維持し子女を敎養するを以て無用の重荷なりとし、其得る所の收入を以て肉躰の嗜慾を逞うせんと欲し、妻を娶るとを爲さざる事

抑も人類の食色は天性なるが故に、能く三十歲乃至四十歲に至るまで、堅固にして淸潔なる生活を維持し得るや否や、少數の士君子は能く之を爲し得べしといへども、普通多數の人民は恐らくは之を能くせざるなるべし。特に社會の進運に從ひ生活の費用益々增加するが故に、下層婦女の如きは嫁資を得んがために、云ふ可からざるの業を營むに至り、婚姻の遲引と共に、男女とも甚しく風俗を紊り、社會を茶毒し、惡疾延蔓し、惡業公行し、國勢委靡し、徒に外面の華奢を競ひ、精神界の精華は稍地を掃ふに至らんとす。是れが晚婚に附隨するの弊害であります。

私は頃日明治三十二年の我邦の婚姻に就き、其年齡を研究して、左表の如き結果を得ました。

此表の示す所に依れば、靑森縣にては五千零八十一組の婚禮あり中に、十九歲以下の夫百分の十八零五ありしと云ふとを示す。即ち五人の中一人足らずは、十九歲以下にて婚姻する夫、妻は百人の中四十人四四まで十七歲以下にて婚姻する者なり。即ち十人の中四人までは、十七歲以下にて婚禮をするものなりと云ふとを示して居るのである。何と早いとではありませんか。斯く早い婚姻は北東の隅なる靑森に始り、東京近處の千葉に終つて居るのである。勿論富山石川福井は男の方は此一列一躰の縣よりは若い婚姻者が少いが、女の方は矢張多いのである。其他の地方では男の早く婚姻するのは、靜岡鳥取沖繩の三縣のみである。女の早く婚姻する地方は男よりはずッと多く、長野靜岡愛知岐阜三重、それより山陰山陽四國である。九州で早婚なのは長崎福岡大分の三縣だけである。それで早く婚姻する地方では、十六七の娘が家に居ると、何故嫁に遣らぬか、片輪ではないかなど、噂をするさうである。そうして一度他に嫁して戻さるれば、却て批評を受けぬ位の事であると云ふ。何と呆然たことではありませぬか。

（殘は次號）

總裁殿下の御諭詞をかしこみ拜して　三重縣幹事　二井米子

みことはの惠の露にうるほひて
いや榮ゆらん大和なでしこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

◎春の旅

信水生

一、滋賀の都の殘櫻

古人が我日本魂を詠うて、そが朝日に匂ふにたとへたる夫の潔く美しき櫻花が正に芳を爭ひ妍を競はんとする時に方り、大元帥陛下は大旆を攝海に進め給うて、月の十日、空前の盛儀を以て觀艦式を擧げさせられた。微臣何の幸か、辱くも倍觀の光榮を荷うて、益す報効の難きを思ひ、更に我國民たるもの、報國の道は、夫の櫻花に似たる丹心に在るのみと一層深く感じた。

さて、其歸るさ、大阪の博覽會も一瞥して、再び身を鐵車に委ねて、居ながら滿地の春光を弄するごとを得るのも、亦聖代の餘澤と、つく〴〵難有感じながら、山崎も過ぎ伏見も過ぎ幾多の感慨にうたれて、何時しかさか行く御代に逢坂山のトンネルも過ぎて、さゝ波の滋賀の都の大津に着いたのは、十三日の午前九時頃であった。大津〳〵と云ふ驛夫の呼聲に、不圖窓外を眺めたところが、一人の婦人、年の頃三十歲位な、女先生らしいのが、今しも隣の列車へ這入る所であった。服裝は極めて質素で、容貌態度も温柔な人の樣に見受けられた。プラットフォームを見れば、見送りの爲に二三十人許の女生徒が整列して、一齊に眸を此婦人に注ぎながら、何れも別を惜む情に堪へないと見えて、おろ〳〵涙にハンケチをしぼッて居ッた。汽車のゆるぎ出ると同時に、一同「左樣なら」「御大事に」と云はんとしたが、更にこみ上げて來る悲さに、聲は全くうるんで、半は言ひ得なかッたながらも如何にも慕はしさうに目送して居ッた。

暫して二三丁進んだころ、今を盛りと咲き匂ふ菜の花の畑の中に、又もや七八人の生徒が見送ッて居たが、是も同く涙に目の縁を赤くして居た。嗚呼涙、婦人は涙もろひとは云ひながら、涙は實に容易く流れるものではない。うそいつはりで涙の出るものではない。然るに今此女先生は斯くも多數の女生徒の尊とき美しき涙を以て送られたのである。職を辭して郷里へ歸るのであるか、或は更に修養を積む爲に、東都にても遊學するのであるか、何れにしても斯くの如く慕はれ斯の如く惜まるゝのは、其人物のゆかしさ、氣高さも察せられ、多年の薫陶感化の一通りでないとが推し測られ、教育家としての彼女の精神の美は櫻花の如く、決して軍人としての我等の報効心に讓らないことを思うて余は痛く感動した。更に又、斯の如き人は、退いては必ず一家の良妻賢母であり、進んでは必ず一郷一國の善人であると思へば、轉た欣慕の情に堪へなかッた。惜い事は其名を知る事が出來なかッたのである。大津附近の讀者の君よ、同日同時頃大津驛を發して東上したる彼の婦人の姓名住所等を詳にし給ひし人もあらば、幸に本紙發行所へ宛て、通知するの勞を惜み給ふな。

二、日本婦人と西洋婦人

此日余と同列車に、同く東京行の日本婦人西洋婦人、どちらも五六人づゝ乘ッて居ッたが、西洋婦人は多くは終日讀書して居て、さもない婦人はハンケチを縫うて居ッた。之に引きかへ、我國の婦人は朝から晩まで揃ひも揃うてしだらなく居眠りをして居ッたので、其對照が頗る著しくて、同胞たる余は如何にも慚愧に堪へなかッた。此一事を以て比較されても我婦人の品位と智識が西洋婦人に劣ること數等であると謂はれて、辯解することが出來ぬ。更に又吾婦人が恬然として貴重なる時間を浪費して、少しも惜まざる、所謂懶惰の風があると笑はれても仕方がない。如此にして何時迄も、たゞ百年苦樂由二他人一と云ふ風に、婦人が夫にたより、親にたよッて行ッたならば、女權の擴張どころか、それよりも尚ほ大事な國運の進張もむつかしくは無からうか？

兎角我國の婦人は讀書が嫌ひて且つ獨立自營の氣象がなく、從ッて勸勉の心掛けがない。寸時を惜んでハンケチ一枚縫ふのも、手袋一つ編むのも、婦人の本分を盡す一端で、やがて報効の道であることは、有髯男子が鍬を執り銃を肩にするのと少も變はッたことはない。要するに我愛國婦人會員の如き、其思想に於て、其品位に於て高尚優美の方々が先き立ちて改良の道を講ぜられずば、列國に伍して、日本を進め行くことはむつかしい。など、思ひ煩ふうちに何時しか汽車は新橋に着した。下車して觀れば停車場外の櫻花は二片三片そよ吹く夜風に散じ來つて我軍服の袖を撲ッた。（をはり）

因に記す、此日上等室に乘り居たる、夫の日本婦人の多くは、其風俗より、其動作より察するに、上流社會に列することを許すべからざる一種の社會の人なりしが如し。我國にては如此人迄も上等室に乘りて恥ぢざるを見ても、社會の不規律を證するに足る。此不規律を許す罪過の責任は大部分男子にあることも亦明亮なり。

熊本縣幹事長　德久張子筆

演說

◎軍人遺族扶護に關する諸名家の意見

（去にし廿日神田の青年會館に於てものせられたる演說の大意なり）

◉大隈伯爵　愛國心は外部の刺激に依て勃興するものである、平時は沈んで居つても一朝事ある時は直に起る。日本に於ても外國と戰ふ時は國民皆刀を執つて立つの概あり、戰の爲に斃れたものに向つても非常に感謝の意を表する。然るに時の經過と共に、遺族の困難をも顧ざるに至るは歎ずべきの至りである。元來遺族を救助するは國家の爲すべき事柄であるが、國家の力が及はぬから、社會的の同情を起すに至る。即ち愛國心より博愛慈善心となるのでつまり、愛國心と博愛心とが結びつくのである。故に救助事業は社會的の事業でない、國家的の事業である。

今日は平和の時である、然るに何故に兵を養ふか、兵力を以て平和を保たんか爲である。然るに何時平和は破れて戰端は開かれんとするかも知れぬ、今後の戰は日清戰爭の如きものでない、世界の戰爭である、幾万の兵士が血を流す事があるかも知れぬ。故に軍人遺族の扶護は今日の爲のみならず、將來の爲にも必要である、軍人をして後顧の憂なからしむる事は、全國民が愛國心と博愛心とを以てやらねばならぬ。云々

◉本田庸一氏　第一に軍人遺族の救助の事は、下士卒以下に限るがよい、實際の必要は是等の人々の遺族に限るからである。第二に國民が同情の心より進んで救護する事は、國家に對する一の直諫でなくてはならぬ、今日に於て遺族扶助の不十分は軍備の不備である事を覺らしめねばならぬ。第三に日本の社會は兎角上を大事にして下をおろそかにする、假令はピラミッドの塔の倒にした樣なもので、上にのみ特權が多くて、下に特權のないのは不公平である。第一死ぬべき軍人を抽籤で定めると云ふ程、不公平な事はない。其上に戰死者の遺族にまで手當が屆かぬといふ程、不規則なる社會はない。如斯き不規律な事では社會は永續せぬ、故に此弊を去つて健全なる國家を作らねばならぬ。云々

◉法學博士田口卯吉氏　自分は陸軍々備擴張には政治上反對したが、之は時の政府が成算もなく無意味に擴張して、將來如何になり往くかの點が憂慮に堪へざりし爲である。又今日軍人のみならず、一般の官吏が其薄給に泣くは、金貨本位の制度をとつた爲である。遺族扶助料も昔定めた儘の制度を動かさないから、困難なのも道理である。外國の如く傭兵制度なれば、死んでも自由意思の結果であるから、餘儀ない事としても、日本の如く徵兵制度の處では、緣もないものが餘儀なくせられた結果、一命を捨てたので、其後に至り遺族が死に瀕せんとするを見ては仁人義士は之を抛棄すべきものでない。今日の兵備は減じても、是等の人々を救はねばならぬ。社會の人も輿論を作つて、是等の人を慰める事を計らねばならぬ事である。云々

大森に靜養中

評議員　子爵夫人　本多延枝子

をしめとも日はくれにけりあま小舟
かすむ波間にみえすなりゆく

をちこちの里のけむりもへたてなく
霞にこもる春の濱つら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物

◦荳類　荳類も亦必要なる食物にて、就中大豆を以て最も貴重なるものとす。其蛋白質は百分の三十六、七あり。然れとも單に煮豆として食する時は、其蛋白質の三分の二だけ吸收を受けず、大豆に亞ぐものを蠶豆豌豆及び小豆とす、大抵大豆の三分の二の滋養質を含めり、大豆を以て造る味噌・醤油及び豆腐は、いづれも我國の特有產物にて古來行はるゝ所なるが、大豆の成分中普通に吸收を受け難きものを利用せるにて、今日の學理に適し最も感ずべき發明なり。

豆腐は我國に於て最も大切なる滋養食物にて、生豆腐は水分の多きにも拘らず、百分の六乃至八の蛋白質あり、生揚豆腐・油揚豆腐いづれも滋養質に富めり。豆腐の搾り滓、即ち雪花菜も尚ほ幾分の滋養質あり。されとも、人間の胃は之を消化する力なし、牛馬の食餌として最も適當なるものなり。

豆腐皮は豆腐を造る時に漉したる汁に、灰汁を加へて煮れば、表面に膜皮するもの是れなり、是亦滋養に富み貯藏に便なり。

味噌は大豆十分、麹六分、鹽四分の割合に搗き雜ぜて製するものなり、是れは滋養を得る爲に用ゐるに非ず、其味・香氣及び鹽氣を以て、他の味なき食物を胎中に輸送する媒介となすものなり。

醤油は大豆と小麥麹と鹽と水とを各等分に和して釀造し、其成れたるものを漉して用ゐるなり。

◦藷類　藷は穀類につぎて重要なる食物なり、就中馬鈴薯・甘藷は常食とも爲すことを得るなり。馬鈴薯は料理法に由て消化に相違あり、裏漉にかけ牛乳等を入れたるは磨藷とて消化宜し、甘藷は滋養分に富めとも植物纎維とて不消化物ありて、多量に食する時は腸胃を害し風氣を醸す。

◦蔬菜　我國にては廣く野菜を用ゐるが故に、培養法進歩し佳良なるもの多し。野菜は蛋白質及び脂肪等を目的とせず、其水分及び酸類の多少に着目すべきものなり、即ち其物より滋養分をとるよりも、他の食物の消化を助けしむるに在り。

蘿蔔は滋養質少なけれとも、水分と鹽分とに富み好ましき味を具ふ、慈姑と百合とは澱粉に富み、京菜・菘は、蛋白質や、多く、薇・芋莖等また蛋白質に富む、然れとも是等の乾物は、其滋養質果して吸收せらるゝや否や明ならず。

野菜は新鮮なるを要す、之を貯藏するに鑵詰などにするは可なれとも、陳漬・味噌漬・糠味噌漬にしたるは、野菜の本分を失ひて其効なし、單に味類たるに過ぎず。

正誤　前號滋養分分析中千分の何程とせしは、總べて百分の思ひ違ひなりしにつき玆に正誤す。

◎家計收支の實況

東京　會員　某報知

會員の君だちは、皆上流社會の方々のみにて、下層社會の生活の有樣を御覧なさつたならば、さぞや不思議に思召しませうが木綿着て粗食しましても私共の家庭にはそれ相當な愉快があります。「樂しさや夕顔棚の下凉み」とか申す有樣をちと御覧に供したき儘、寄送り申候

○明治三十六年一ヶ月分平均額

一家族三人　但し夫婦に子供一人

收入

一金貳拾圓也

支出

一金拾七圓九拾錢也

内譯

金四圓五拾錢	家賃	金參拾五錢	湯賃衛生費
金五圓	米代	金貳拾錢	散結髪代
金三圓	副食物費	金參拾錢	通信費
金五拾錢	薪代	金拾五錢	二六新報代
金參拾錢	炭代	金壹圓	被服料
金五拾錢	醤油代	金六拾錢	主人小遣
金六拾五錢	味噌砂糖酢鹽	金拾錢	慈善費
金四拾五錢	石油	金參拾錢	茶菓代

殘金貳圓拾錢

評　僅に貳拾圓の少額を以て貳圓餘の殘金を見るは誠に珍らしき經濟なり。併し米代の五圓は違算にはあらずや三等米位て辨して至當なるべし。主人の小遣六拾錢にて交際費も辨ぜらるべきや疑はし。湯錢及び衛生費の參拾五錢も三人分としては如何のものにや。

◎東京市内物價平均額一覽表

東京　麹町　會員某

皆さま方の家計收支の實況を拜見致しまして、實に面白く且つ有益に感じます。されとも市内の物價をよく知りませぬと、八百屋物や米の相場の正否を知る事が出來ませぬ。それて地方の方に御願ひ申したいのは、其地方〱の物價を、此表に倣うて御知らせを願ひたいです。是は私一人の希望のみならず、大方の讀者も希望せらるゝことゝ思ひます。例の不行屆きなる處、あらば御訂正を願ひます。

米一斗代	二等米貳圓	茶一斤（並）	五拾錢
醤油一斗代	參圓	筍一貫目	拾五錢
砂糖	拾貳錢	大根一本	貳錢五厘
味噌百目代	參錢參厘	人參牛蒡一本	壹錢乃至壹錢五厘
鰹節百目	參拾錢	小松菜一把	貳錢
薪一把代	五錢	鯛一〆目	壹圓貳拾錢
鷄卵	二錢乃至三錢	髮結賃一度	五錢
炭一俵	大俵六拾貳錢	湯錢一度	貳錢五厘
酒一升	六拾錢	牛乳一合	五錢
牛肉一斤	參拾六錢	鮪一〆目	壹圓貳拾錢
石油一罐	壹圓五拾錢	平目一〆目	九拾錢

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（一八）鰯のフライ　長崎市愛讀者某　報知

鰯の骨を去りたるを、擂鉢にて能くすり、食鹽を少し入れ、小さき里芋程の大きさに丸め、胡麻油にて揚げます、是れは清汁に入れても、又は煮物に用ゐても宜し。氣候のよき時はあげたまゝ數日貯へ置きても、味ひかはる事なく調法なり。但し何處の料理方なるかは知らず。

（一九）酢蕪　備中會員某　報知

いろ〱お珍しいお料理を拜見致しまして、誠に嬉しう存じます。京都の姉君の酢獨活は、實に簡便で、結構て御座います。就いては私も一つ申上げませう。

先づ蕪を五六分位の采目に切り、其一方から半分位の深さに、堅横に切目を入れ、平らな鉢に並べまして、バラ〱に鹽をふり、又其上へ蕪を並べ鹽をふり、幾重にもかさねて置き、一日程過しますと、水が出て、柔かになります。此時水を捨て酢と砂糖と鹽とを加減して煮合せたるを冷して、蕪へたッぷりかけますと、二日位て漬きます。（好みにより唐辛少し加へてもよし。）殊に半分を赤蕪にするか、或は食料紅で染めまして、鉢に盛る時市松に並べますと、奇麗て御座います、是れは普通の千枚漬よりも味よろしく、切目を入れたのが花の樣になッて面白う御座います。

（二〇）熬豆腐　備後尾道會員　報知

豆腐を布に包んでかたく搾り、水氣を去り、鍋に入れて火にかけ、杓子で攪きまぜながら出る汁を捨て、バラ〱に成ッた頃其豆腐を他の器に移し、其あとの鍋に胡麻油を少し入れ、能く煮えた時再び前の豆腐を入れて攪きまはし、其中に砂糖醤油にてよき程に味をつけた椎茸と穴子の蒲焼など、二三分位に刻みて一緒に入れ、何ほ攪きまはし穴子の蒲燒のタレ汁などにて、よき程に味をつけるので御座います。

（二一）いとこ汁　長崎市愛讀者　報知

里芋を五分位胡蘿蔔・牛蒡を二三分位、蒟蒻を四分位、孰れも采の目に切り、赤小豆を入れ清汁にたきます。是れは昆布だしにする方味が宜しう御座います。此料理は越後の仕方の樣に聞いて居りますが、如何ですか御存じの方に御尋ねいたします。

◎婦人の名の下に附する子の字の說（承前）

（一）『子』とは男の意義にて、もと男女相互に親愛の美稱として用ゐられしなるべし。妻を我妹子、夫を我兄子と呼ぶか如し。されば上古は男子にも何子といふ名の附きたる少なからず、蘇我馬子、小野妹子などの類なり。又婦人は自己の代名詞を『童子』と稱するが如く、謙遜の意味にて何子と稱へたるもあるべけれど、大方は父母か其兒女を親愛して、何子、何子と呼びならしたるが、終に其女子の名となりたるものなるべし。他より稱する時は、親愛の美稱となり、自ら稱する時は謙稱ともなるをもて、自他共に「子」の字を添へて苦しからず。されど、今日やんごとなき御邊の女性の名には必「子」を添へさせらるれば、尊稱の如く聞ゆるをもて、身分なきものが『何子』と名のるは僭越のごとく思ふ人もあれど、決して然らず。男子の名に何彦、何雄、何麿などいふとおなじ意味に添へたるものなれば、上下貴賤を通じて、何人が自己の名とし、又我子の名に命ずとも、毫も憚るところなしと知るべし。但し戸籍上の實名に『子』の字なき人にして、公だちたる時、例へば宮中の御歌會始にたてまつる懷紙竪詠草の如き、或は公衙に出す文書の如きに、濫に何子と書添ふるは、あるまじきことならん。

（二）は（一）の解說中にこもりたるなるべし。

（三）三音以上の名に『子』を附くるは古人の中に三音以上の少なからぬを見ても差支なし、

◉大阪支部總會の景況　本會大阪支部は去にし廿一日午後二時大阪市中の島公園なる公會堂に於て[illegible]びたり。今其景況の概略を記さんに、午後二時第一振鈴にて會員及び來賓一同着席するや、總裁宮殿下は幹事御先導にて御臨場あらせらる（此間奏樂）次に幹事藤田とみ子開會を言上し、且つ會員に對し開會の旨を述ぶ。夫れより總裁宮殿下は左の[illegible]

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり玆に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんことを望む[illegible]

の祝詞あり次に奥村刀自は一場の演說を爲し、幹事藤田とみ子閉會を言上し、且つ會員に對し閉會の旨を述ぶこれにて總裁殿下御退場あらせらる（此間奏樂）。次に第二振鈴にて會員一同に茶菓を配布し、餘興として筑前琵琶、[illegible]三曲、狂言等[illegible]きにも拘はらず已に二千餘名に及べり、實に比類なき長足の進歩と云ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月及び來月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

四月廿九日（第五水曜日）第二の組
五月六日（第一水曜日）第三の組
五月十三日（第二水曜日）第四の組
五月二十日（第三水曜日）第五の組
五月二十七日（第四水曜日）第一の組

◉大阪支部大會　同會は去にし廿一日午後一時より同地中之島公會堂に於て開會總裁殿下も御臨場あらせられたり、當日の景況は取り敢ず其概略を欄外に掲げおきたり。

◉奥村刀自　京都及び大阪の大會に臨場の後和歌山支部管内に遊説を試み、更に岡山支部管内に赴き、五月廿四五日頃神奈川縣支部の大會に臨場の上歸京の豫定なり。

◉京都支部大會　既記の如く本會京都支部第二大會は去にし四月十五日午後一時より、京都市議事堂に於て開會、來會者約千餘名、議事堂の階上階下は貴婦人令孃の正裝したるものにて塡められつ。先づ副幹事長木下常子開會の辭を述べ、次に總裁閑院宮妃殿下の御代理花房男爵令嗣夫人總裁妃殿下の左の御諭旨を代讀したり。

愛國婦人會京都支部の會員增加し事務振興して爰に第二回總會を開くにいたれるは誠に喜ばしき事なり猶諸氏が相共に志を同くし力を戮せ本會の旨趣を發達し以て博愛慈善の美擧を盛大ならしめん事を望む

次に幹事長大森齡子左の奉答の辭を述べたり。

愛國婦人會京都支部第二回總會に當り、總裁殿下の優渥なる令旨を賜ひ厚く奬勵を加へさせ給ひしは支部の光榮何事か之に若くべき益す會員諸氏と相助け相勵しみ會務を振興し之を內にしては忠勇尚武の風を家庭に養ひ之を外にしては博愛仁䘏の擧を殉難志士の遺族に洽くし以て殿下の令旨に負かざらんことを期せんとす

次に貞廣太郎氏の會務の報告ありて、總裁宮殿下御代理は退場し、次に當日の來賓清浦司法大臣登壇し、先づ本會の隆盛を祝し、京都は由來我國一二に位する都市にして、滿市勤儉の德に富むは、夙に傳聞するところなるが、尚は益す夫の巴里市民に倣うて勤儉貯蓄を勵行し、其蓄積したる所を以て、かゝる會を興隆せしむるに努められん事を希望すとの意にて祝辭を述べ、續いて相談役谷子爵登壇、先づ封建時代と現今立憲治下の時代とは、忠の意義異るとを述べ、現時は國民を擧げて、君に忠を盡すを得ることとなれば、士農工商を問はず、士の道を盡さん事は夙に希望する所にして、本會の如きは婦女の士として國家に盡すを得しむるものなりと說き、次に大森知事の祝辭、內貴市長代理莊林助役の祝辭あり、奥村刀自の各地の入會者にして特志なる者の例を引きて本會の旨趣を述べたる演說あり、最後に幹事西澤泉子閉會の辭を述べて閉會し、更に餘興に移りて、五時散會したり。當日來賓の重なるは清浦法相、大森知事、莊林助役、內藤二十八聯隊長等にして、本部よりは理事谷子爵夫人出席し、非常の盛會なりき。

◉三重縣桑名分區會の催　三重縣桑名町に於て、本會三重支部の區分會の設けられたる事は兼て報導せし處なるが、今回同區協議員發起人となり、三重感化院の爲に、慈善音樂會を催したるが、當日は天氣快晴にして、特に櫻花爛熳の好時節なりしにより近在よりも會する者一千餘人に達し、同地に於ける近來の盛會なりしよし、本會々員が團結の結果地方に於てもかゝる慈善的又は公共的事業の行はるゝは、實に喜ばしき限りなり。

◉熊本支部の景況　去にし十三日午後一時より赤十字社熊本支部に於て開會。當日出席者は、師團より佐藤軍醫部長、大谷派より大友達行師、矢毛智達師、有志者戶張瀧三郎氏福山正登氏會員には副幹事長飯田政子、幹事佐藤たか子、以下六十餘名の出席あり。佐藤軍醫部長は傳染病のことにつき、種々の例を引き有益なる講話あり。大友達行師は慈善心に關する講話あり。夫れより係員德永軍太氏は去にし十二日阿蘇郡分區總會に付東新次郞仝令夫人幹事東やす子の熱心なる盡力、總會の模樣及び本會よりの救護金のとに付報告ありて、午後四時散會せり。

◉熊本支部阿蘇郡錦野分區總會　去にし十二日熊本縣阿蘇郡錦野尋常小學校に於て、本分區總會を開きたり、先づ定の如く一同着席了るや、爆竹三發を合圖に、幹事東やす子登壇開會の挨拶、中西郡長は赤十字社へ給はりたる勅語奉讀了りて、君が代の唱歌を奏し、夫より德久幹事長代理飯田副幹事長の挨拶あり、西行德量師は赤十字社員、愛國婦人會員の感ずへきことにつき講話あり、東幹事は閉會の旨を述べ、午後一時式を了へたり、引續き餘興として日清事件の講談俄、盲擊劍、等ありて非常の盛會なりき。當日は赤十字社分區總會と愛國婦人會分區總會と合併なりし故に、出席者も無慮八百餘名なりしと云ふ。

◎奥村刀自遊說日誌

四月十三日　午後零時三十分新橋發の列車により奥村首唱者、山澤本誌主幹及び中村事務員西下す。車中存外乘客少く睡眠も差支なかりき。

同十四日　午前六時京都着（支部役員方出迎の煩勞を慮り豫め到着の時間を報じ置かざりき。）下車して朝食を辨じ八時頃支部に到る。支部よりの通知により、やがて役員達續々來訪あり。

同十五日　夜來雨降る。刀自は早朝隣家なる柊屋に清浦司法大臣に面會し本日の大會に出席演說あらんことを乞ひ、承諾を得たり。又山澤主幹と共に谷子爵御夫婦を訪問したり。支部役員方は早朝より會場たる京都市議事堂に打揃ひ、諸般の準備に忙はしく、豫定の如く午後一時より大會を開き、五時過散會したり。當日の景況は別項記載の如し。

同十六日　午後一時三十分幹事諸氏と共に二條停車場を發し、嵯峨驛に下車し、刀自は小倉山二尊院なる二條家祖先の墓に奠し、了つて嵐山に到る。三軒屋に於て諸氏は刀自の爲に慰勞の宴を張られたり。出席者は木下副幹事長中澤廣瀨中井八田馬杉齋藤山田の七幹事及び山澤主幹中村事務員なり。中澤氏の執事中村某氏種々周旋せられたり。午後六時嵯峨驛發二條驛に下車し一同當夜開くべき演說會場たる室町尋常小學校に到り、同八時より開會す。同校長開會の趣旨を述べ、次で刀自登壇す、聽衆約三百名、一同大に感激せり、同十一時閉會。

同十七日　山澤主幹は午前十一時三十分發車にて鄕里廣島に向へり。刀自も同列車にて大坂府茨木町より出張の橋川惠順氏と共に同地に向ふ。午後〇時三十分同地大谷派本願寺別院に着し、一時より本堂に於て開會。聽衆約五百餘名、郡長坂田氏開會の趣旨を述べ、次に淺岡評議員は高崎幹事長に代り、簡單に本會の趣旨を述べ、次に橋川氏の巧なる演說あり、了つて刀自登壇。五時頃閉會す。即時四五十名の入會者ありき。來る廿一日の大會に關し、打合のため大坂より出張の諸氏と共に廣岡評議員の邸に會し、了つて八時半發車にて京都に歸る。（以下次號）

◎京都支部大會餘聞

◉大會の景況は別項に揭げたる如くなるが、支部役員其他各夫人等それ〴〵定めの部署に就きて斡旋せられ、よく千餘名の來會者に滿足を與へられたり。當日看護婦の屆入れありたる抔、以て用意の周到なるを見るべし。又開會中時々樂隊の嚠亮たる軍樂ありき。

◉當日新入會者百餘名あり、由て當府會員數は貳千餘名に達したり。

◉當日最も感心したるは、散會の際多人數大混雜にて（退出者に一時に出ださゞる樣注意したるにも拘はらず）、下足手間取り、會員に迷惑をかくるを見兼ねて、左の人々は雨中自ら庭におりたちて、濡れながら下足番の手傳をせられたると是なり。參會の會員達も、大に之に感激したりとぞ。

幹事八田艷子（八田辯護士夫人）廣瀨（廣瀨醫學士夫人）
同大槻つな子（市助役大槻法學士夫人）同山田龜代子（醫師山田氏夫人）
同戶井田德子（豪商戶井田氏夫人）同小泉ます子（醫科大學藥劑師小泉氏夫人）
藤澤ちか子（常磐幼稚園保姆）三崎さと子、小泉藥劑師、
山本醫師

右は山澤主幹が目擊したる人々なるが、此他にも尙ありしなるべし。斯く身分ある人々が下足の手傳までせらるゝ事、京都支部の隆盛に赴ける偶然に非るを知る。右の人々の中には衣服のいたく雨に濡れたるため、衣服を自宅より取寄せ、又は近處の親戚にて借着せられしもありきとぞ。

◉當日の餘興は二十五弦、八雲琴杯の彈奏及び長刀の仕合あり。孰も會員の技にて、趣味に富み且上品なりき。此他の樂曲演奏の爲に屆入れたる藝人等は、其技を寄附し、且つ多少の寄附金をなしたりと云ふ。感ずべき事なり。

◉大阪支部總會の景況　本會大阪支部は去にし廿一日午後二時大阪市中の島公園なる公會堂に於て[illegible]ひたり。今其景況の概略を記さんに、午後二時第一振鈴にて會員及び來賓一同着席するや、總裁宮殿下は幹事御先導にて御臨場あらせらる（此間奏樂）次に幹事藤田とみ子開會を言上し、且つ會員に對し開會の旨を述ぶ。夫れより總裁宮殿下は左の[illegible]

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり玆に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんとを望む

[illegible]の祝詞あり次に奥村刀自は一場の演說を爲し、幹事藤田とみ子閉會を言上し、且つ會員に對し閉會の旨を述ぶこれにて總裁殿下御退場あらせらる（此間奏樂）。次に第二振鈴にて會員一同に茶菓を配布し、餘興として筑前琵琶、沙師三曲、狂言等[illegible]きにも拘はらず已に二千餘名に及べり、實に比類なき長足の進步と云ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◎天皇皇后兩陛下　京都御所に御駐輦中の御模樣を漏れ承るに京都は兩陛下の生ひ立ち給ひし御故郷といひ、山紫水明の土地にて、御苑內の空氣良好なるが上に、御殿の構造及び御庭園の御模樣も、東京の宮城と趣きを異にしあれば、屢御苑內を御逍遙あらせられ、益々御健全にあらせらるゝよし。

◎皇太子及妃殿下　兩殿下は大阪博覽會御見物旁た來る五月十日前後行啓相成るべきよし。皇太子殿下には常に農事にも御心を懸けさせられ、御所內に三段步ばかりの畑地を設け、時々御手づから蔬菜の種を下し給ひ、其生育の有樣に付き御研究遊ばさるゝよし。

◎迪宮淳宮兩殿下　來る廿八日頃沼津より御歸京あらせられ、翌廿九日は迪宮殿下第三回の御誕辰に相當するを以て、川村伯邸に於て御養育主任以下の人々へ御祝酒を賜はるよし。

◎兩內親王御學問所　昨年來高輪御殿內に新築中なる常宮、周宮兩內親王殿下の御學問所は、既に竣功せしを以て、此程より御二方共日々新學問所にて御修學あそばされつゝありと申す。

◎三若宮殿下測候所視察　千葉縣下へ御修學御旅行遊ばされたる成久王鳩彥王稔彥王三若宮殿下には、去にし十七日風雨を冒し、同窓生徒百三十餘名と共に、銚子測候所へ成らせられたり。同所長は業務の大躰を認めたる書面を捧呈して、御研學の料に供し奉りたるよし。

◎下田歌子女史の形態の淸潔と精神の高潔と

太古の人は長命したるが、後世に至る程短命なりと云ふものあれども、そは誤りなり。古代は天然に任せて生命を長くする法を講ずる事を知らざりしが開明に趨くに及んで衞生の方法進みて壽命は益す長くなる道理なり。然るに日本には古代より自然に淸潔の方法行はれて長命したるもの多し。其法とは禊と云ふ事是なり、之は神代より行はれたるものにて、身體の禊と精神の禊と二つながら行ひたるものなり。其方法は淸き流れに入りて身體を淸め、然る後神に向つて懺悔して罪を謝する也。斯くして精神の高潔を計りたるものなるが儒教の擴まるに從かつて此法の廢れたるは甚だ惜むべき事なり。要するに形態と心とは相伴ふものにして、形態を淸潔にすれば、自然心も高潔となる理なれば互に注意して衞生を重んじ、長命する事を務めざるべからず。云々（大日本婦人教育會雜誌）

◎日本新聞記者の女學考　數日間引續き掲載せる大文字なり。其論の一節に曰く、男子は男子の職分あり、女子には女子の職分ありて、古來より女子にして男子のなすべき部分に事業を行ふたるもの よく成功したるものなしと。又婦人の特權としては、慈善の事業等に從事するを適當なりとし、其例として佛國革命黨の領袖ダーリヤンの夫人の左の女權請願書を示して、以て婦人に最適切なる希望なるべしと論定せり。『男子は國債を拂ひ國土を護るの義務あり、女子亦た同じく義務を盡すを要す、凡そ未婚の婦女は少なくとも一年間、施療院又は慈善會又は救貧所に通勤するの義務を負ふべし。是れ獨り義務にあらずして又た權利なり又た名譽なり。寡婦に至りては勿論なり。余は廿一歲の寡婦にして、一生の大望は唯だ第一番にこの名譽職に就かんと欲するのみ』

◎小山作之助氏の平民音樂と趣味性　人は天然の樂器と云ふべき口舌を有するを以て、宜しく此樂器を完全に使用する法を考ふべきなり。即ち極めて通俗的の音樂を用ゐて、しかも高尙なる趣味を養ふに適する歌謠を作り、之を最も面白くして歌ひ易き曲となして廣く世人に頒つとは最も必要の事なりとす。我邦人は概して沒趣味にして音樂又は遊戲杯によりて、精神を休養し慰藉することは非常に實益の存するものなることを知らず。元來人は心か面白からずんば何事にも成功するを難し、而して心を樂しますには、音樂に如くものなし、音樂は人の趣味性を高尙に導き、國民の品格を高むるものなれば社會國家のために一日も忽にすべからざるものなり。云々（成功二ノ一）

雜報

◎女子高等師範學校　同校本科入學生は豫定の如く、七十五名入學を許され、新學期を開き目下既に授業しつゝありと云ふ。又國語躰操科の新募集生も三十名入學を許可せられ、近日より授業を始むるよし。

◎東京音樂學校　同校の甲種師範科の生徒は愈よ二十五名假入學を許す事となり、內女子の入學生は十七名にして、去にし廿一日より既に授業を始めたり。尙同校にては來月五日頃春期演奏會を催す豫定のよし。

◎東京美術學校の女生徒養成の議　上野の東京美術學校にては、曾て岡倉覺三氏校長在任の當時も詮議あり、物議多くして遂に立消えとなりしが、現校長正木直彥氏は時期既に到りとして、此程女生徒養成の意見を具して文部大臣に建議したりと云ふ。右に對して當局者中にも校規紊亂を招くの基なりとて、反對の意見を有するものもある由なれば、中々容易には實行に至るまじと云ふ。

◎實踐女學校　本會評議員下田歌子女史の專ら經營せらるゝ同校は、府下豐多摩郡澁谷村に新築中の處、此程漸く教場の一部出來上りて移轉し去にし十八日十九日の兩日生徒作品展覽會を開き、關係の人々を招待したり。

◎芝區高等女學校　芝區三田四國町の舊水產講習所跡へ建築中なりし私立高業女學校は、去にし十九日落成式を兼ね開校式を行ひたるが、同日は校長棚橋絢子女史始め、來賓岡田文部總務長官の演說ありたり。同校は新設にも拘はらず、既に七十餘名の出願者あるよし。

◎和洋裁縫實修女學校の設立　同校は今度神田區北神保町に設立せられたるが、其の學科課程を、本科、教員養成科、洋服專攻科、刺繡科の四科とし傍ら女子に必要なる學科をも授くべしといふ。

◎各府縣高等女學校の景況　此の程發表せられたる、文部省の報告によれば、從來高等女學校の設備甚だ少く、隨ッて生徒の數も少く不振の有樣なりしが、高等女學校令發布せられ各縣に必ず之を設くべき制度となりし以來、大に其趨勢を一變し、現に一縣に四校を設立せるもの四縣もある趣なるが、本年度に於ても增設新設を爲したるもの多く、兎角女子は中途廢學するもの多く一ヶ年六千餘人の廢學者と、千餘名の除名者を見るに至るは全く女子の素志堅固ならず、一時の風潮に誘はれたるものに外ならずと云ふ。

◎癸卯園遊會　屢報導せし同會は愈々今廿五日廿六日の兩日水交社に於て催す由なるが、當日は華族女學校に關係ある宮樣方も、多分出席あるべし。催主の中にて夫れ〳〵役割あるものは去にし廿二日より日々水交社に集まり、熱心に豫習を行はれたりと云ふ、定めて當日は盛會なる可し、詳細は次號に讓る。

◎婦人教育會例會　同會は去にし十八日華族女學校幼稚園に於て開會し、棚橋女史は教育上弊害のある處を陳べ、次に文學博士瀨川秀雄氏山崎合戰以前の豐太閤に付て講演を爲したり。當日の來會者は會長毛利公爵母堂を始め、子爵松平保子夫人松平男爵夫人鳩山山脇兩夫人も見受けたり。

◎大日本婦人衞生會總會　來る五月二日午後一時より、同會總會及び春季懇親會を兼ね、小石川砲兵工廠內後樂園に於て擧行し、役員の改選あり、餘興には多分講談等の催しあるべしと云ふ。

◎日本女子美術展覽會　同會は上野公園內に於てその第三回を開きたり、同會の美術品は女子美術學校、帝國女學校、婦女技藝專修塾婦人獎勵會青山技藝學校の出品にて頗る見るべきものありと云ふ。

◎千島婦人同情會　千島の拓殖經營が今日の如く長足の發達を爲したるは、報効義會婦人部の內助與ッて力あり。現に會長郡司大尉の夫人兼代子の如きは、渡島以來十年間一日も內地に歸りたる事なく、一般會員の妻女と辛酸を共にし居れるよし。今回占守島在住の婦人に同情を寄せ、之を慰藉するの目的を以て千島同情婦人會なるものを設立せんとて齋藤海軍少將夫人佐藤高木の兩醫學博士夫人愛住女學校長小具貞子女史其他海軍々人の夫人專ら盡力せられ其協議會を去にし十八日開きたり。

◎動物虐待禁止會婦人部　同會は去にし十五日一橋外學士會に於て評議員會を催したる上、婦人部を擴張する事を議したるが、現に會員にも多數の婦人あるにも拘はらず、學士會にては婦人の會合を許さゞる爲め、別に婦人部にても時々會合を爲し、同會の主旨を社會に擴むべき方法を議する樣議決せり。尙同日の會合に某夫人より芝勸業場に繫げる猿の虐待について訴へ出て、尙某西洋婦人よりは馬車の馬を途上に停むるに足に綱を卷く事を禁すべき旨申出られたり。

◎養育院の慈善演劇　東京市養育院は先般の評議員會に於て、本年は川上一座の演劇を催す事に決し、院長澁澤男爵より川上音次郎に內談中なりしが、略纏まりし由にて、本月末歟來月早々歌舞伎座にて興行する筈。

◎女子同情會の近況　長野縣上伊那郡富塚村の平民吉澤おはる（三十）は、昨年七月中毆打創傷の廉にて重禁錮九ヶ月の刑に處せられ、市ヶ谷監獄署へ入獄したるが、當時お初と呼ぶ二歲の女子ありて、之を携へて行く事叶はねば、據所なくお初は養育院へ送られたり、然るに板垣伯爵夫人等の創立せし女子同情會にて此事を聞き、幼兒の一身を憫れみ、伯爵夫人は自ら監獄女監を巡視してお初を預り保育せんと申出て、之を引取て、相州鎌倉なる乳兒保育會員佐竹音次郎氏に託して養ひ置きしが、おはるは刑期滿て過日放免となりしにつき、板垣夫人は三名の會員を隨へ、お初を抱きて市ヶ谷に到り、母おはるに對して懇に將來を誡めたる上、お初を引渡したるに、見違へるばかり肥太りて、愛らしき我子の姿を見て難有涙に暮れ直に悔悟の色現れ嬉し泣に泣き居たれば一同滿足して引揚たりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃磯本店

み

袴誂專門

小賣部　東京本郷區本郷五丁目十三番地　美濃磯支店

電話本局千四百十五番

電話浪花二千八百五十九番

電信略号　ミイソ

婦人最良藥

子宮病血の道　產前、產後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

中將湯

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

定價（一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢）

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗　東京日本橋通四丁目　津村順天堂　大阪堺筋鹽町北入　津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

目　半ゑり帶揚類　縮緬肩掛數多　縫模樣絞り形

○絞り形染模樣帶片側○絞り形兵兒帶地（帛紗地）○染形しぼり形帶揚○新橋〆下締○染形け出し○雀形○ゑり治まげ入　おろし小賣

高等洗粉　チエリー　バイオレット　特製　入發賣元本舗　ゑり治

第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ　拙店出品御賣約品は閉會後東京府下市內御屆仕候

新橋竹川町十二番地　電話新橋二千二十七番

新療法開始

瘰癧　如何なる難患にても切開を要せずして治癒す

心臟病　不治性と斷念せし大患も轉地を要せずして衛心性根治療法を行ふ

脚氣に陥りしものも忽ち全癒す

神田區三崎町三丁目一番地（西通廿五番）　千葉內科院

登錄商標

佛國大博覽會賞牌受領　博覽會 東京　東両國横網町

賜賞牌　今古改正　寶香　齒磨　伊勢屋吉次郎謹製

●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

新刊

文學士 高鵬 尾田信直氏著

婚姻文學

全壹册　定價 金廿五錢

朝に妻を迎へ夕に去り昨は嫁して今は離る或は琴瑟相和の義を曉らず或は舅姑に事ふる道を知らず嫁娶の大禮を以て一時の離合視するは世弊なり著者は少壯男子の爲に女子教育の爲に風俗改良の爲に筆を執りて婚姻の眞義を論じ良緣好偶の選擇一國一家の繁榮は夫婦相和に基くあるを說き東西古今の美談を擧げ諧謔に交るに教訓を以てし道義を說くに常理を以てし其佳趣漫々として堪ふる中に薫陶化育の實あり文章亦高潔にして雅雄相備ふ一篇の修身書なり良緣鑑なり女道訓なり庭訓の好侶伴たり請ふ陸續購讀の榮を賜はらんことを

高瀨花陵氏著　●自然の子　全一册 金十八錢

弘田醫學博士閱 木村鈹太郎氏著　●普通育兒法　全一册 金七十五錢

本社篇　●女子新論　全一册 金七十五錢

高柳秀雄氏著　●立志の栞　全一册 金廿錢

北島研三氏著　●處女衛生　全一册 金廿錢

帝國教育會編　●公德養成　全一册 金五十錢

發兌　東京本町　金港堂書籍株式會社　各地特約店

坪內文學博士校閲監督 ◉ 新刊廣告

一見よ!!!

通俗世界文學

▲世界文學は古今の傑作を網羅し　▲血あり肉ある原作の全影を邦文をもて最も巧に縮寫せるものは本書也　▲文學研究者の好楷梯、一般國民の最上の讀物

每篇美本　每篇頗る西洋名家插畫數葉入

繁野天來氏著　第一編　ミルトン失樂園物語

杉谷代水氏著　第二編　沙翁物語マクベス外二編

全部五拾篇每月發行每篇紙數百五十頁●正價金廿錢六册金壹圓拾四錢十二册金貳圓廿二錢廿五册金四圓六拾錢五十册金九圓郵税一册ニ付金四錢ヅヽ、每月一册刊行

發兌元　東京神田裏神保町　合資會社 富山房

醫院案內

內科 小兒科　兩國病院　院長 醫學士 小林廣　診察日本橋區米澤町三ノ六 午後　電話浪花壹七七七

同分診所　院長 醫學博士 ドクトル 榊順次郎　本宅 診察本郷區本郷四丁目廿五 午前　電話本局一七貳貳

婦人科產科榊病院　診察午前 入院隨時　東京麴町三番町卅三　電話番町三百九十五

小兒科、小兒皮膚病　長井醫院　日本橋區數寄屋町　電話本局百八十

小兒病診療　醫學士 內田愼太郎　宅診午前 往診午後　淺草區新福井町貳番地　●電話下谷七一八番

外科專門　樂山堂病院　院長 醫學博士 宇野朗　副院長 醫學士 中原德太郎　淺草區小島町　電話浪花一五七七

山龍堂病院　院長 醫學士 土屋艮藏　林伊與造　東京神田小川町四十番地　電話本局二二〇

●醫學博士 中濱東一郎　●外科擔當 醫學士 桂秀馬　回生病院　月、火、木、土午前外來診察　公務の餘暇每日午前診察　麴町區下二番町四十五番地（電話番町七十五番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂 神田區表神保町三番地

◎東海堂 京橋區銀座四丁目

夏着新荷着

服地。長襦袢用シャレー。其他英佛國更紗各種。帽子。造花。羽根。日傘。手袋。沓下。レース絹木綿各種ピン。サイコーム。婦人用ネキタイ其他小間物各種

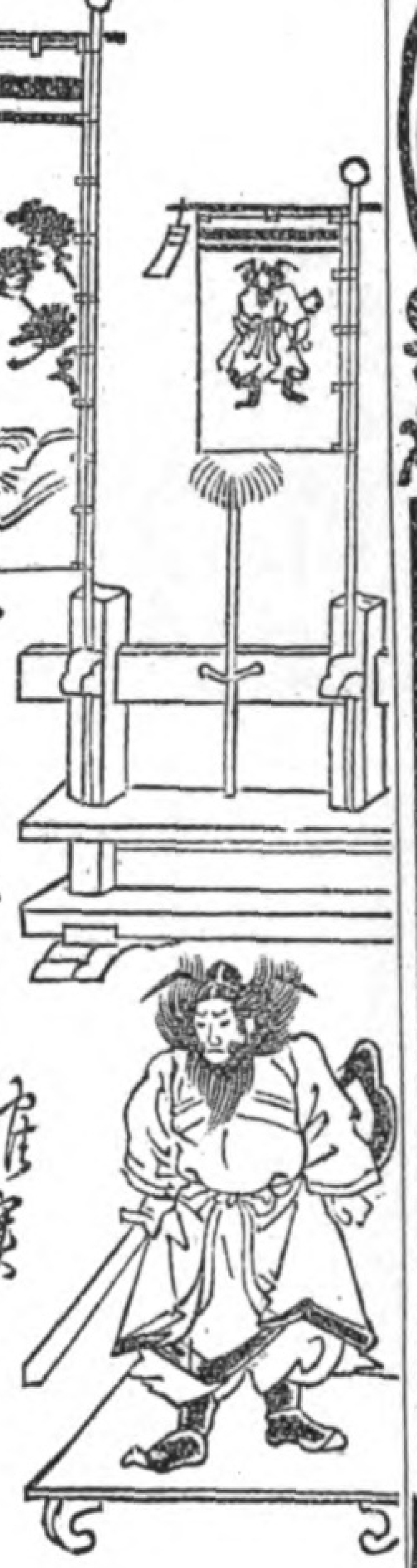
御袴地（海老色、紺、小豆）

シャレーの義は貴婦人、令孃向き柄合特に撰み取揃有之候間多少共御用向御仰付被下度候

婦人洋服地 附屬小間物 卸小賣商

東京市麹町區麹町二丁目七番地 八木屋號

大國服裝店 電話番町七四二番



寫生 武者人形

幟

美術雛人形 寫生武者人形 卸商

淺草橋通瓦町十四番地

[illegible]本店

電話下谷千四百三十五番

第八版 軍人讀本 三冊 定價金參拾六錢 郵稅金拾錢

子爵小笠原長生氏著 英皇戴冠式參列 渡英日錄

子爵遣英艦隊の乘員として英皇戴冠式に參列するや其絢爛たる筆は遂に興味ある此行の日乘と爲り戴冠式の實況は云ふ迄も無く航路間の名所舊跡細大漏す所なく又史的研究に依りて新智識を致し進取の氣象を鼓吹し英國民が日本に對する意向如何を細叙し冥々の間に海事思想を養ひ國民品性の養成上資する所大なるものあるべし

定價四十錢郵稅八錢

大和魂 定價金參錢婦人郵稅不要 三日十五日發行

立國の要素たる民性の頹敗未だ今日の如きは有らざる也吾人大に茲に感ずるあり德性涵養の事に從ふ者數年世人の歡迎は茲に月刊を二回に增刊するに至らしめ家庭の良教師たらん

發行所 東京市ヶ谷見附內 軍事教育會 電話番町一二五七番

第五版 精神教育談 四冊 定價金五拾五錢 郵稅金拾錢

ヴワイヲレット製 寿美禮おしろい

定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢

定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

西洋色白くする洗劑 寿美禮あらひ粉

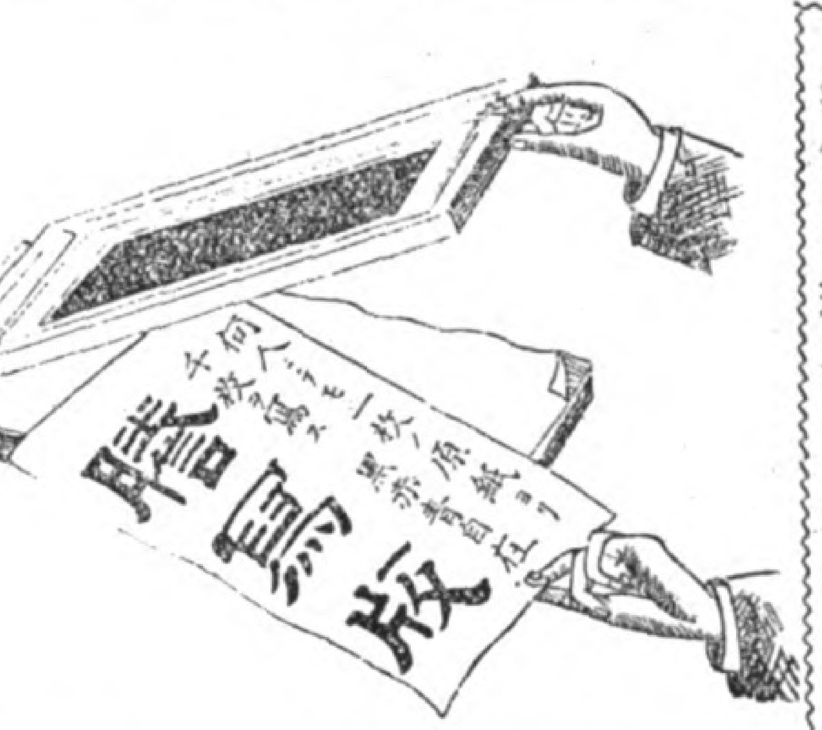
東兩國 伊勢吉 寿美禮堂

定價綠藍紅彩蝶香ひ罐詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

町村役場に限り特別販賣法あり

大改良謄寫版

水難救濟會員及び本誌購讀の御方に限り葉書にて御通知次第謄寫版定價表及仕用法共謄寫堂より無代にて進呈可申上候



今回佛國より原料を輸入し之に改良を加へ暑寒共變質なき完全なるルーラを發明したる事を本器拾餘萬の御使用者各位へ謹告仕候（明治三十四年九月）

賜進步賞牌 陸海軍御用 專賣特許 發明人 堀井新次郎

◎本器は何人にても熟練を要せず直に實用し得らる ◎一枚の原稿にて千枚以上を印刷し得、最も書畫隨意筆記の儘を寫す ◎書體は眞草行隨意最も最字適當なり ◎濃き墨色を主として赤青自在なり ◎本器製品番號十餘萬號に及べり以て確實多望なるを知られよ ◎解說書（和英二種有）及印刷見本御申越次第送呈す

東京神田區鍛冶町三番地（電話特本局千〇八十四番） 販賣元 謄寫堂 大阪臨時出張所博覽會正門前東京府賣店內

內國特約 大阪 岡山 門司 名古屋 函館 仙臺 丸龜 福岡 橫濱 飯田 秋田 高知 富山 松江 其他

海外特約店は米、露、淸にあり

皮膚病專門醫坂本李堂氏著（再版） 男女美顔法 一名美顔之秘訣

正價金四拾錢郵券一割增郵稅金六錢

右ハ著者ガ多年ノ實驗ニ照シ何人ニテモ行ヒ得可キ美貌ノ秘訣ヲ詳說セル珍書ナレバ冀クハ本書ヲ繙ヒテ其容貌ヲ艶麗ナラシメン事ヲ本書非常ノ好評ニテ夥シキ注文數ナレバ可成早々御注文被下度希候

發兌 東京京橋區弓町 松村三松堂

をんな

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんことを期するに在り。されば、其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、一科學の大意を掲て、學理の概念を得しめ、一和漢洋名著の綱要を掲げて、諸書の涉獵に便せしめ、一法制理財等の事を平易にして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、勤儉貯蓄の美風を獎勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌を讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁 定價拾五錢全國無遞送料

發行所 麹町區下二番町三十七番地 大日本女學會

◎女學生監督◎

近來府下留學女學生の風紀に感ずる處あり、夫洋行の留守中五ヶ年間女學生七八名を限り自宅に預り望の學校に通學せしめ夜間は望に應じ英語並にオルガンを教授す

東京市小石川區春日町四十三番地 英和女學校出身 近藤れん

商標

●御袴地 ●御仕立袴

學校用男女御德用向特別品廉價に販賣仕裁縫は殊に叮嚀を旨とし高尚に仕立申候 弊店は古昔より袴專業に候

芝區日蔭町通源助町十三番地

袴專業 住吉屋 犬飼吉兵衛 電話新橋二千百六十五番

明治三十六年四月廿五日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄
發行所 大日本女學會內

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN